

第16回宇宙開発委員会（定例会議）議事次第

1. 日 時 昭和47年12月20日（水）
午後2時～4時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 昭和47年度1～2月期ロケット打上げ
実験計画について
(2) 直接放送衛星条約について
4. 資 料
委16-1 前回議事要旨
委16-2 昭和47年度冬期ロケット打上げ実験計画
一覧表
委16-3 SESノート№397～402
委16-4 第7回ロケット打上げ実験計画書
委16-5 打上げ実験用ロケットノート№7
委16-6 直接放送衛星条約について

第 1 5 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨

1. 日 時 昭和 4 7 年 1 2 月 1 3 日（水）
午後 2 時～4 時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 宇宙開発委員会技術部会報告について
(2) 宇宙開発協力に関する欧州宇宙研究機構
(E S R O) との書簡交換について
4. 資 料
 - 委 1 5 — 1 前回議事要旨
 - 委 1 5 — 2 宇宙開発委員会技術部会報告
 - 委 1 5 — 3 S E S ノート 第 5 6 M — 4 S — 4 実験報告
 - 委 1 5 — 4 第 6 回ロケット打上げ実験報告書
 - 委 1 5 — 5 宇宙開発協力に関する欧州宇宙研究機構
(E S R O) との書簡交換について

5. 出席者

宇宙開発委員会委員

山 県 昌 夫
綱 島 毅
吉 識 夫
八 藤 東 福

説明者

技術部会第一分科会長

佐 貫 亦 男

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

千 葉 博

〃 〃 宇宙開発参事官

山 野 正 登

〃 〃 宇宙開発課長

野 口 節

文部省大学学術局審議官

笠 木 三 郎

(代理：鈴木)

通商産業省重工業局次長

北 村 昌 敏

(代理：角南)

気象庁総務部長

石 原 明

(代理：高谷)

郵政省電波監理局審議官

高 田 静 雄

(代理：片桐)

建設大臣官房技術参事官

増 岡 康 治

(代理：原)

東京大学宇宙航空研究所

秋 元

花 沢

6. 議事要旨

(1) 前回議事要旨について

第14回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨案が一部修正の上承認された。

(2) 宇宙開発委員会技術部会報告について

宇宙開発委員会技術部会報告（昭和47年度8～9月期ロケット打上げ実験の評価について）について佐貫が技術部会第一分科会長から報告があり、以下の質疑応答が行われたのち、受理された。

佐貫：今回の打上げ実験ではM-4Sロケットは一応の完成の段階に達したことが、認められたが衛星の信頼性に問題が生じた。

今後の衛星の開発に際しては、今後十分な配慮が必要であるろう。

第2号衛星の故障については、東大において今後の改善を図ることとしているが、衛星の信頼性、特に主要機能の信頼性が十分確保されるよう配慮することが必要であろう。

宇宙開発事業団についても信頼性確保にはさらに十分な手段を講じて欲しい。

網島：LS-C等のロケット内の配線のハンダ付けは、衛星内部のハンダ付けに匹敵する程度の十分な注意が払われているか。

佐貫：一般にロケットの方が衛星に比して注意が難だという傾向はある。

今回のLS-C型6号機のハンダ付けの配線については余剰コードがあつたのに使わなかつたこと等配慮に不十分な所があつたと思われる。

(3) ESROとの書簡交換について

宇宙開発協力に関する欧州宇宙研究機構（ESRO）との書簡交換について松元守科学技術庁研究調整局宇宙企画課長から説明があつたのち、以下の質疑応答が行なわれた。

網島：この交換公文では、ESROの加盟国である個々の欧州諸国との協力は行なわれるか。

松元：ESRO全体と交わした交換公文であるので、個々の欧州諸国は対象とならない。

網島：ESROとの協力で当面の課題は何か

松元：情報交換の気象衛星の開発に関する交流が考えられる。

網島：人材交流の話はないか。

松元：話はあるが今後の検討課題である。

八藤：エアロサットについての協力も考えられるであろう。

網島：エアロサットの現状はどうなっているか。

八藤：当初ESROと米国FAAを中心に話が進められていたが、その後米国は民間企業レベルでの参加という方針に変わったようだ。詳細については、来年1月中旬頃にESRO、米国、加で再度話し合いが行なわれる予定である。

昭和47年度冬期ロケット打上げ実験計画一覧表

機 種	打上げ予定日	延期 日	打上げ場所	目 的
S-210-8	^{48年} 1月16日	1/20 まで	内の浦	イオン組成、電子密度・温度、中性粒子密度の観測
K-9M-41	"	"	"	プラズマ波、電波伝播、非線形プラズマ波の観測
L-4SC-2	1月26日	2/1 まで	"	飛上り試験
MT-135P-T-5	2月5日	2/13 まで	種子島	人工衛星打上げに必要となる上層の気象データの観測
JCR - 8	2月6日	"	"	人工衛星打上げ用ロケットに用いる誘導制御技術開発のため、制御系等の性能試験
MT-135P-T-6	2月7日	"	"	MT-135P-T-5に同じ
K-10-9	2月15日	2/20 まで	内の浦	電子温度、イオン温度、中性粒子密度、プラズマ流方向検出、紫外線、銀河X線の観測
K-9M-42	2月20日	2/25 まで	"	電離雲、電子密度・温度、電磁波の観測